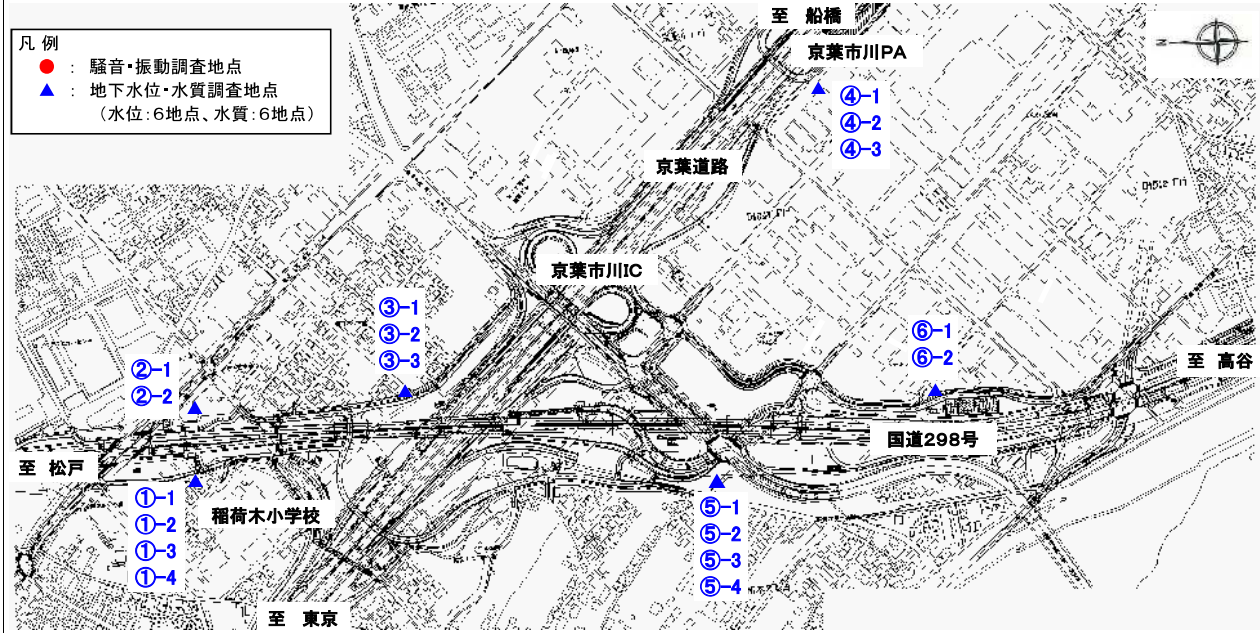


稲荷木・田尻・鬼高地区の7月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路側の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路側千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路側
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)

2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年7月28日、29日、30日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①						②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3			
pH	7.2	7.9	8.1	8.0	8.1	8.0	7.6	7.6	8.1			
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満			
調査地点	④			⑤			⑥					
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3			
pH	7.5	8.1	8.0	6.7	7.4	8.0	8.1	7.5	7.7			
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満			

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

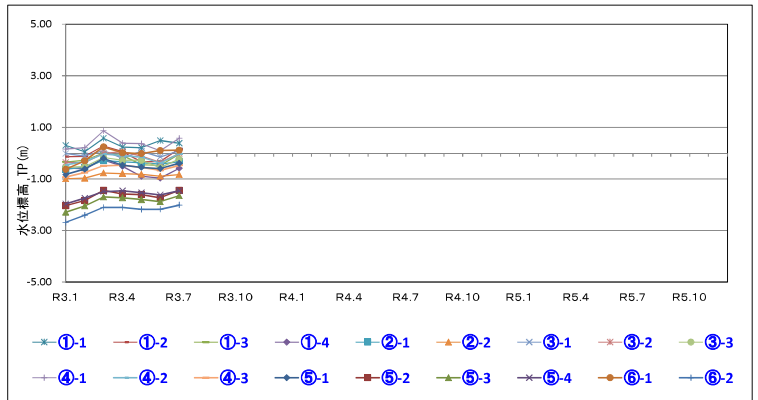
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①						②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3			
R3	5月	0.215	-0.335	-0.450	-0.900	-0.371	-0.821	0.070	-0.120	-0.280		
	6月	0.485	-0.325	-0.480	-0.970	-0.421	-0.891	-0.150	-0.360	-0.560		
	7月	0.385	0.165	-0.040	-0.590	-0.341	-0.831	0.090	-0.020	-0.230		
調査地点	④			⑤			⑥					
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3			
R3	5月	0.385	-0.150	-0.550	-0.550	-1.610	-1.800	-1.540	-0.020	-2.185		
	6月	0.095	-0.380	-0.670	-0.600	-1.730	-1.880	-1.620	0.100	-2.175		
	7月	0.575	-0.030	-0.480	-0.400	-1.440	-1.650	-1.460	0.110	-2.015		

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

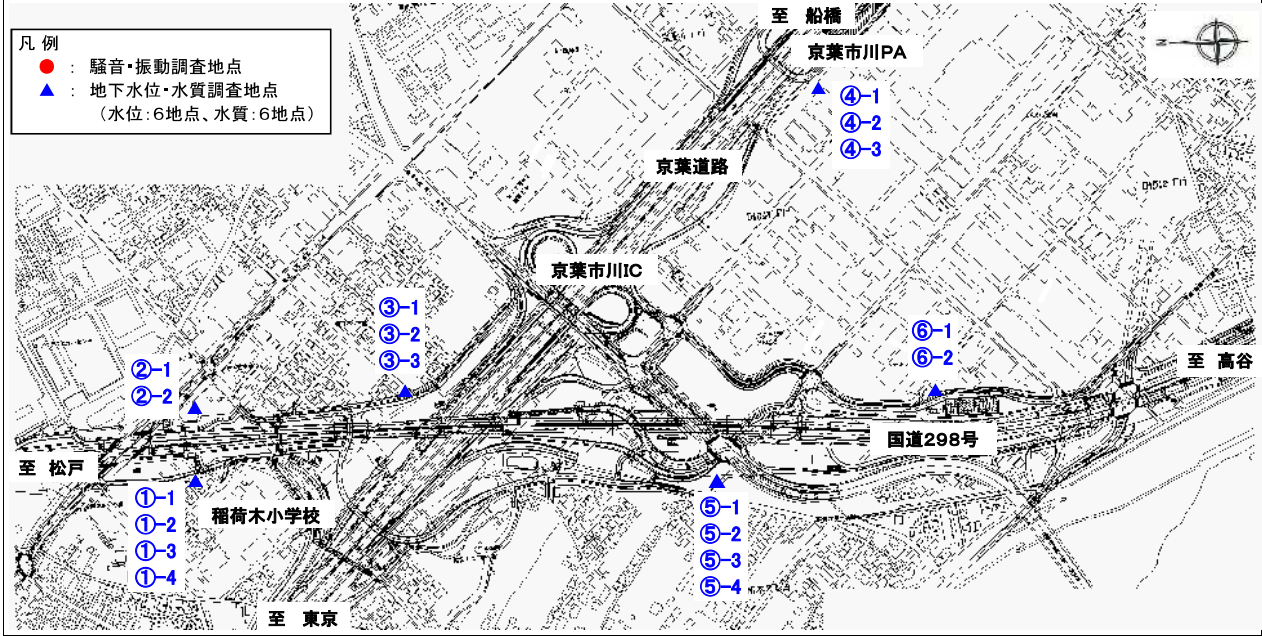


稲荷木・田尻・鬼高地区の8月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路線の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路線千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路線
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)

2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っていません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年8月25日、26日、27日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.1	7.8	7.9	7.8	8.0	7.9	7.7	7.6	8.0
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-2
pH	7.6	8.0	7.8	6.7	7.5	7.9	7.9	7.5	7.6
六価クロム(mg/l)	0.012	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

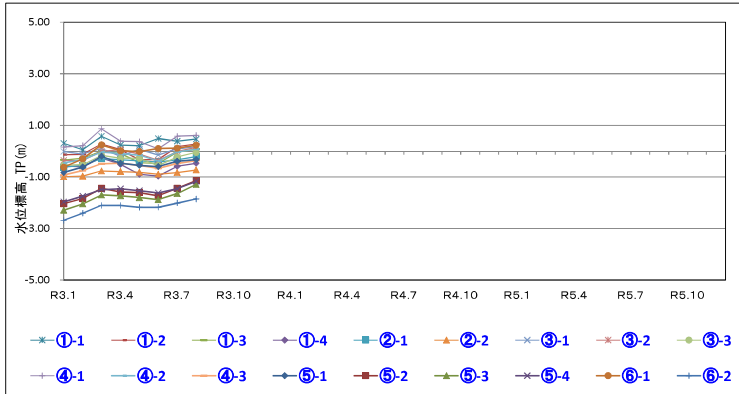
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	6月	0.485	-0.325	-0.480	-0.970	-0.421	-0.891	-0.150	-0.360	-0.560
	7月	0.385	0.165	-0.040	-0.590	-0.341	-0.831	0.090	-0.020	-0.230
	8月	0.465	0.275	0.070	-0.470	-0.211	-0.731	0.170	0.150	-0.050
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-2	
R3	6月	0.095	-0.380	-0.670	-0.600	-1.730	-1.880	-1.620	0.100	-2.175
	7月	0.575	-0.030	-0.480	-0.400	-1.440	-1.650	-1.460	0.110	-2.015
	8月	0.605	0.070	-0.365	-0.330	-1.140	-1.290	-1.180	0.230	-1.855

解説

●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



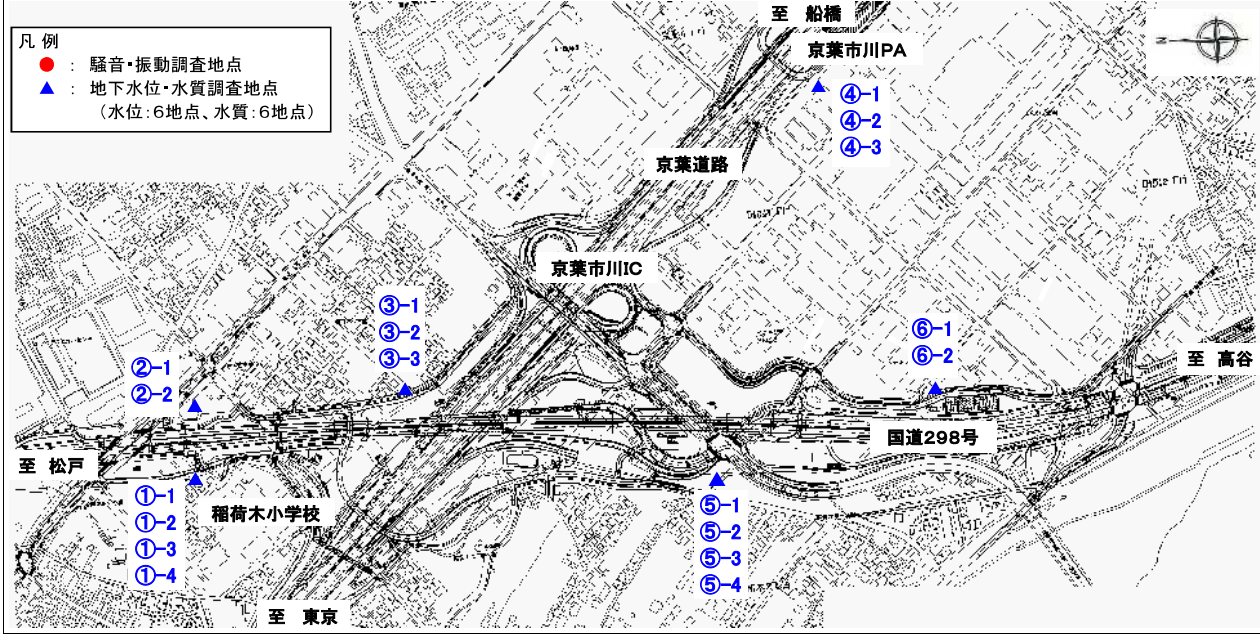
稲荷木・田尻・鬼高地区の9月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路線の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株式会社
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
 (水位:6地点、水質:6地点)



2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年9月28日、29日、30日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.2	7.8	8.1	8.0	8.1	8.0	7.6	7.7	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.1	8.0	7.0	7.7	8.0	8.1	7.6	7.7
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.008	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH (水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

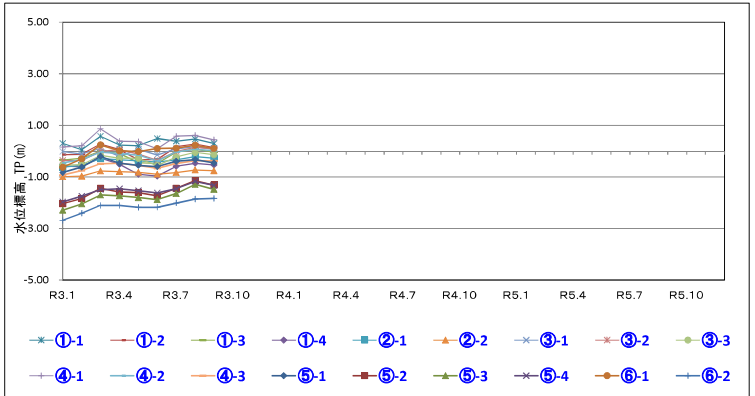
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	7月	0.385	0.165	-0.040	-0.590	-0.341	-0.831	0.090	-0.020	-0.230
	8月	0.465	0.275	0.070	-0.470	-0.211	-0.731	0.170	0.150	-0.050
	9月	0.295	0.135	-0.040	-0.540	-0.271	-0.761	0.080	0.090	-0.140
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	7月	0.575	-0.030	-0.460	-0.400	-1.440	-1.650	-1.460	0.110	-2.015
	8月	0.605	0.070	-0.365	-0.330	-1.140	-1.290	-1.180	0.230	-1.855
	9月	0.435	0.010	-0.375	-0.460	-1.320	-1.480	-1.330	0.100	-1.835

解説

- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

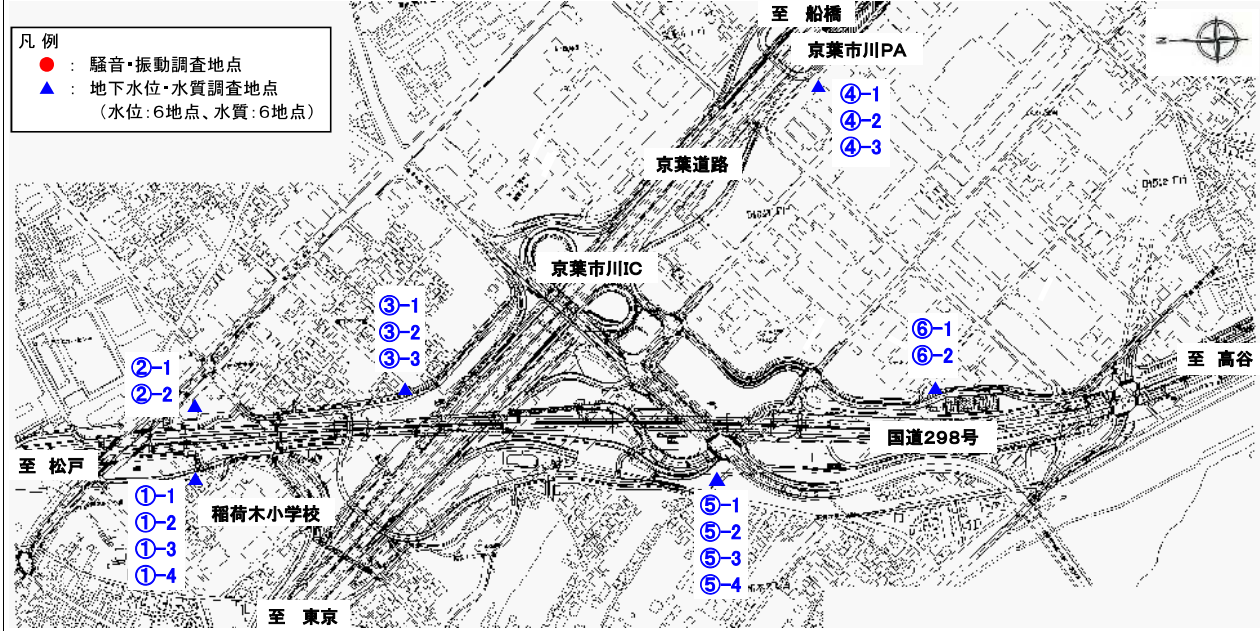


稲荷木・田尻・鬼高地区の10月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路路線の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路路線千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路路線
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年10月25日、26日、27日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.9	8.1	8.0	8.1	8.1	7.4	7.6	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.7	8.1	8.0	6.9	7.6	7.9	8.1	7.5	7.7
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH(水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

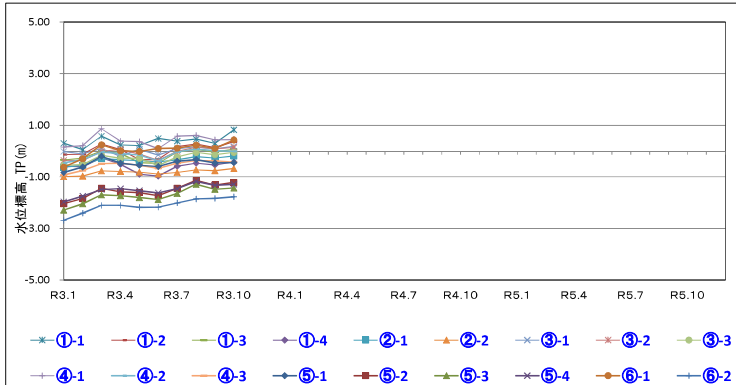
単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	8月	0.465	0.275	0.070	-0.470	-0.211	-0.731	0.170	0.150	-0.050
	9月	0.295	0.135	-0.040	-0.540	-0.271	-0.761	0.080	0.090	-0.140
	10月	0.825	0.365	0.070	-0.420	-0.191	-0.681	0.180	0.140	-0.050
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	8月	0.605	0.070	-0.365	-0.330	-1.140	-1.290	-1.180	0.230	-1.855
	9月	0.435	0.010	-0.375	-0.460	-1.320	-1.480	-1.330	0.100	-1.835
	10月	0.445	-0.010	-0.435	-0.450	-1.220	-1.430	-1.290	0.430	-1.775

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

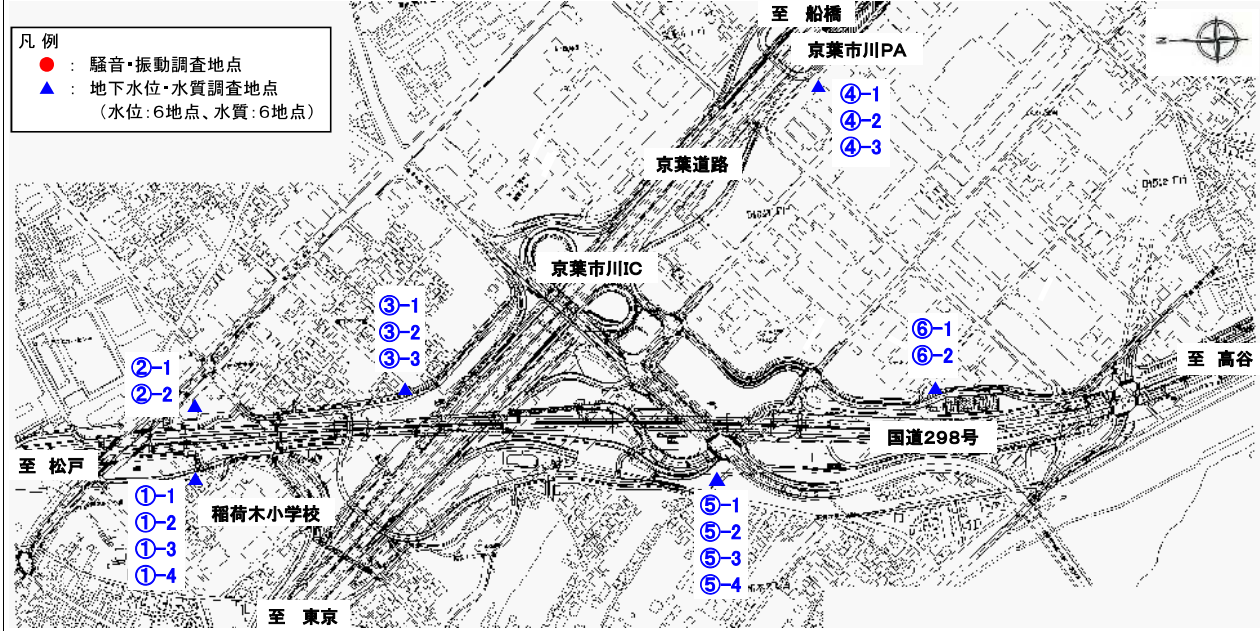


稲荷木・田尻・鬼高地区の11月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

○工事は実施されませんでしたので、調査を行っておりません。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年11月24日、25日、26日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.3	7.9	8.1	8.1	8.2	8.2	7.7	7.5	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.1	7.9	6.7	7.5	7.9	8.1	7.5	7.5
六価クロム(mg/l)	0.016	0.005未満	0.009	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

●pH (水素イオン濃度)

地盤改良等に使用するセメント系固結剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。

●六価クロム

地盤改良等に使用するセメント系固結剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○工事による地下水位への影響はありません。

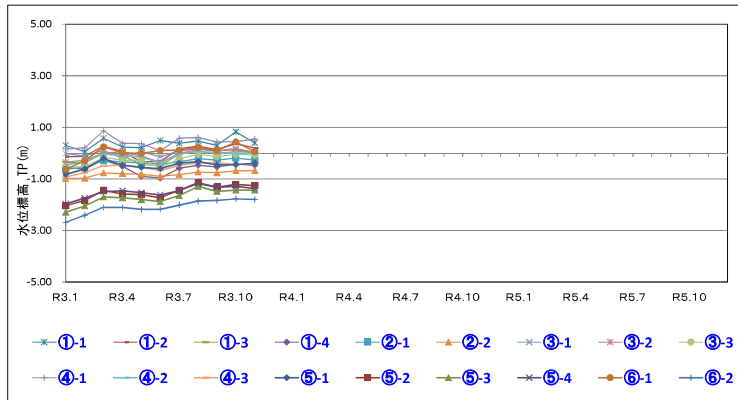
単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	9月	0.295	0.135	-0.040	-0.540	-0.271	-0.761	0.090	0.090	-0.140
	10月	0.825	0.365	0.070	-0.420	-0.191	-0.681	0.180	0.140	-0.050
	11月	0.395	0.195	0.010	-0.470	-0.281	-0.681	0.020	0.030	-0.080
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	9月	0.435	0.010	-0.375	-0.460	-1.320	-1.480	-1.330	0.100	-1.835
	10月	0.445	-0.010	-0.435	-0.450	-1.220	-1.430	-1.290	0.430	-1.775
	11月	0.545	-0.010	-0.405	-0.400	-1.260	-1.430	-1.370	0.060	-1.795

解説

●T.P.m

東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

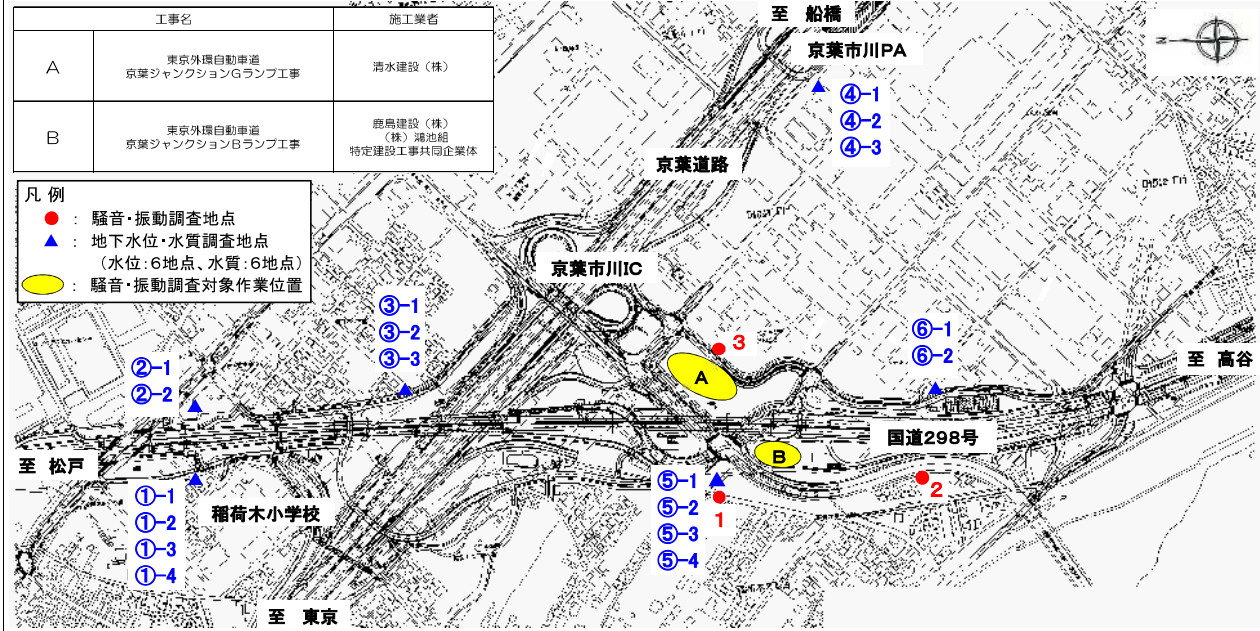


稲荷木・田尻・鬼高地区の12月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱千葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-4103

1.調査項目および調査地点



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	56	35	12月24日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	66	45	12月24日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	63	47	12月24日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説
 ●騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
 ●振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R3年12月22日、23日、24日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.2	7.8	8.1	8.0	8.1	8.2	7.7	7.4	8.1
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.009	0.005未満	0.005未満	0.005未満

調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.1	8.0	6.8	7.4	7.9	8.1	7.5	7.5
六価クロム(mg/l)	0.005未満	0.005未満	0.013	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説
 ●pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
 ●六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固着剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.05mg/リットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該試験において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。
○工事による地下水水位への影響はありません。

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R3	10月	0.825	0.365	0.070	-0.420	-0.191	-0.681	0.180	0.140	-0.050
	11月	0.395	0.195	0.010	-0.470	-0.281	-0.681	0.020	0.030	-0.080
	12月	0.295	0.175	0.000	-0.490	-0.281	-0.781	0.050	-0.010	-0.160

調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R3	10月	0.445	-0.010	-0.435	-0.450	-1.220	-1.430	-1.290	0.430	-1.775
	11月	0.545	-0.010	-0.405	-0.400	-1.260	-1.430	-1.370	0.060	-1.795
	12月	0.385	-0.030	-0.375	-0.430	-1.090	-1.200	-1.050	0.030	-1.745

解説
 ●T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

